

平成14年度第1回理事会議事録

日 時 平成14年5月14日(火) 14:00～

場 所 日本体育協会 理事・監事室

出席者 <理事>

安西会長、長沼副会長、大亀常務理事、豊田常務理事、日比野常務理事、浅見、泉、大山、岡崎、斉藤(斗)、白川、高橋、千葉、永瀬、林、古村の各理事

<委任>

土屋副会長、岩名、田名部、堤、野中、野村、蓮見、森、榊岡、緩詰、渡辺の各理事(議長に委任)

<名誉会長>

青木名誉会長

理事総数 27 名、うち出席 16 名、委任 11 名、計 27 名で寄附行為第 32 条に基づき理事会成立。

議事に先立ち、去る 4 月 22 日に逝去された故 斎藤英四郎理事のご冥福を祈り、全員黙祷で弔意を表した。

議 案

第 1 号 第 59 回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催地の決定について (日比野委員長)

第 59 回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会の開催地については、開催地の選定に時間を要したことから、開催地決定の手続きが遅延していたが去る 3 月 27 日付にて青森県より開催申請書が提出された。

本件については関係中央競技団体も了解しており、去る 4 月 19 日開催の第 1 回国民体育大会委員会の議を経て、文部科学省の了解等必要な手続きを終了している旨説明後、第 59 回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会の開催地として青森県を決定したいと諮り、満場一致で承認された。

決定後、安西会長から青森県教育委員会花田教育長に対し、開催決定書が手渡され、花田教育長から謝辞が述べられた。

第2号 第5回秩父宮記念スポーツ医・科学賞受賞者の決定について

(古村委員長)

第5回の受賞者の選考にあたっては、選考委員会のもとにスポーツ医・科学の各専門分野から5名の学識経験委員によって構成した作業部会を設置し、各委員功労賞及び奨励賞の候補者を推薦願い、それをもとに同部会においてその候補者の絞込み作業を行い、今回は功労賞1名、奨励賞1グループの推薦が選考委員会に対しなされた。

その推薦を受けて去る4月24日に秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会を開催し、功労賞については、長年にわたり社会体育・スポーツ社会学の研究に取り組み、我が国における社会体育・生涯スポーツ発展の基礎作りに貢献し、スポーツ社会学の発展にも尽力された糸野 豊さんを選考した。

また、奨励賞には「スポーツ活動中における熱中症事故予防に関する研究班」が基礎研究、実態調査などを重ねた上で、熱中症予防の普及・啓発活動を展開し、事故予防に多大な成果をあげるとともに、「熱中症予防」に対する社会的な認知度を高めたことが高く評価され、選考された。

以上のとおり資料に基づき説明して諮り、功労賞として糸野 豊さんを奨励賞として「スポーツ活動中における熱中症事故予防に関する研究班」を受賞者に決定した。

その他

本会職員労働組合との交渉権・受結権について (岡崎事務局長)

本会職員労働組合から出される春闘及び各要求項目について、その交渉権と受結権を、会長及び労務担当である岡崎事務局長に一任願い、今後の交渉を取り進めたい旨諮り、これを承認。

報告事項

1. 会務関係

(1) 平成14年度公営競技団体の補助金の内定について (岡崎事務局長)

平成14年度の公営競技団体等への補助金、助成金の要望については、去る平成13年11月20日開催第5回理事会にて報告したとおり、本年度より「スポーツ振興くじ助成」が実施される関係から、これまで補助・助成を受けていた国庫補助事業、スポーツ振興基金助成事業及び公営競技団体等からの補助事業のすみわけを考慮の上、関係団体等への要望を行っていたが、この内日本自転車振興会及び日本小型自動車振興会の補助金について、去る

4月2日に内定通知書の伝達式が行なわれ、安西会長が直接通知書を受理された。日本自転車振興会の補助金内定額は前年比1億2千7百62万2千円32.78%減の2億6千1百47万5千円となった。

日本小型自動車振興会補助金内定額は、前年比9百58万円38.9%減の1千5百4万円となった。両振興会補助金も対前年比では30%以上減額されているが、平成13年度第7回理事会で承認いただいた本会平成14年度予算では各対象事業について、この内定額同額を計上済みである。

また、平成14年度予算には、スポーツ振興基金及びスポーツ振興くじの助成金も計上されているが、審査・内定手続きの関係により、本年6月中に、スポーツ振興基金審査委員会及びスポーツ振興くじ助成金審査委員会の承認を得る予定となっており、内定通知があり次第報告することとしたい旨説明。

(2) 春の褒章・勲章受賞者について (岡崎事務局長)

去る4月29日に褒章及び勲章の受賞者が発表された。

本会推薦の勲章受賞者は、本会元理事であり、日本ボート協会元理事の磯 一郎氏、日本フェンシング協会元常務理事の矢野昌宏氏の2名が、スポーツ振興功労で勲5等双光旭日章をそれぞれ受章された。

なお、他団体推薦者では、日本体操協会副会長の早田卓次氏が紫綬褒章を、本会評議員の柳川覺治氏が勲2等瑞宝章を受章された旨報告。

(3) 2001年度ミズノスポーツメントール賞について

ミズノスポーツメントール賞は、平成2年に水野スポーツ振興会の尽力により制定され、今回で12回目となる。

今回、資料のとおりの方々が優秀指導者として選考され、表彰式は去る4月23日に行われた旨報告。

2. 国際交流関係事業 (岡崎事務局長)

・第6回日韓スポーツ交流事業(成人派遣)の終了について

本年度で第6回目となる日韓スポーツ交流事業の内、成人交歓交流日本代表団の派遣事業を、去る4月25日から5月1日までの間実施した。日本選手団は岩名秀樹理事を団長とし、本年度スポーツレクリエーション祭開催の広島県からサッカー、卓球、ソフトテニス、ボウリング、ゲートボールの5競技、来年開催の香川県より陸上競技、テニス、バドミントンの3競技、計

8 競技、総勢 117 名を韓国・忠清北道に派遣した。参加期間中は全日程を通して、スポーツによる親善交流と韓国の自然や文化に触れることのできた大変有意義な派遣事業となり、成功裡に終了した旨報告。

その他

(1) 会議日程について

次回理事会は、6月11日(火)14時から、また平成14年度第1回評議員会を6月25日(火)14時から開催することを確認。

(2) 事務局体制について

本会では平成13年1月16日に発表した「21世紀スポーツ振興方策」に対応した、効率的で柔軟な事務局体制とするため事務局の機構を整備し、4月1日付にて人事異動を行った。職員人事では、事務局長代理を新たに設け、局内の所管業務を事務局長との役割の分担等も視野に入れて取組むこととし、「総務」「事業」と2つの体制でくくりそれぞれに担当次長を配置することとした旨報告。資料に基づき各部署を説明。

(3) 秩父宮記念スポーツ医・科学賞記念誌について

本記念誌は平成12年6月の第3回秩父宮記念スポーツ医・科学賞の「奨励賞」を受賞した内容をまとめたものであり、ご活用いただきたい旨説明。

(4) (財)日本オリンピック委員会との役員懇談会について

4月8日に開催したJOC役員との懇談会について、本会からは国体の改革やスポーツ少年団事業等につき説明、またJOCからは都道府県体育協会との連携、オリンピックムーブメント、ゴールドプランなどについての説明等があり、それぞれ意見交換がなされ、また、今後必要に応じて財政問題等も協議することとした。次回は7月上旬に開催する旨報告。

以上の諸報告をいずれも了承し、14時35分閉会。